

令和2年3月6日
福祉部障害者施策課

江東区地域生活に関する調査集計結果概要 (令和元年度障害者実態調査)

I 目的・回収率

1 調査票の目的

江東区では、すべての区民の方々が、住み慣れた地域の中で、その人らしく、健康で豊かな暮らしを送ることができるように、障害者福祉施策を推進している。

「令和元年度 江東区 地域生活に関する調査」は、障害のある方の生活実態やどのような福祉サービスを利用したいかを把握し、地域生活の実態ならびに課題等を把握・整理し、「第6期江東区障害福祉計画」及び「第2期江東区障害児福祉計画」(令和3～5年度)策定の基礎資料とするとともに、今後の施策の在り方を検討するために実施した。

2 調査票の回収率

区分	配付件数	回収件数	回収率 (%)
障害者(児)当事者	4,941	2,305	46.7
サービス提供事業所	192	121	63.0
障害者団体	34	27	79.4
合計	5,167	2,453	47.5

3 調査回答者(個人調査)

本調査は、障害者(児)当事者が回答することが原則だが、困難な場合には、家族の代理回答でも可とした。

〔単位：％〕

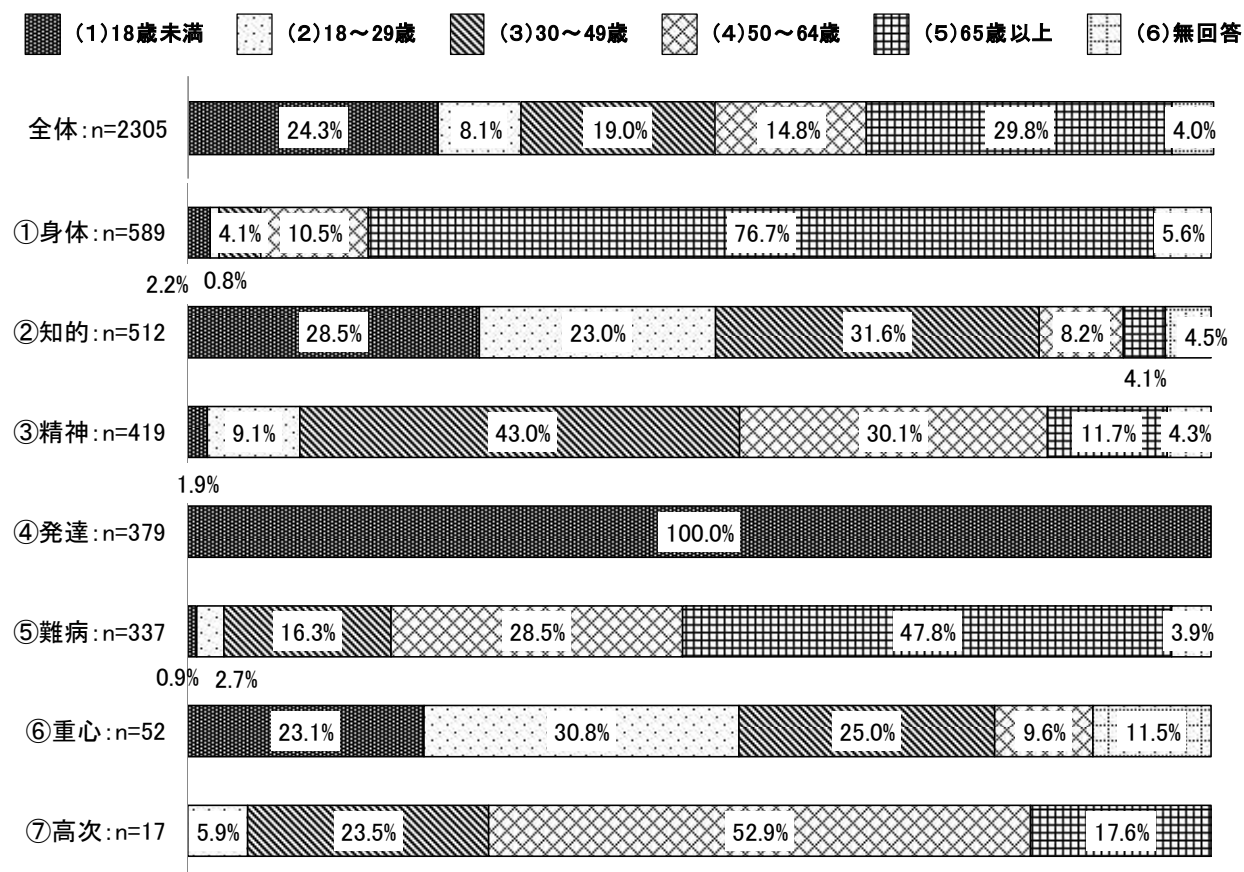
障害種別	当事者が回答 (介助なし)	当事者が回答 (介助あり)	家族の 代理回答	その他	無回答
身体障害	67.1	9.2	19.4	0.8	3.6
知的障害	16.2	20.1	57.2	0.6	5.9
精神障害	73.0	9.3	12.6	0.7	4.3
重症心身障害	—	—	86.5	1.9	11.5
発達障害	—	—	100	—	—
高次脳機能障害	41.2	35.3	23.5	—	—
難病	82.5	4.7	9.8	0.6	2.4
平均	55.5	11.3	28.1	0.7	4.3

II 障害者（児）本人

1 あなた（障害者本人）について

(1) 年齢

設問 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか。

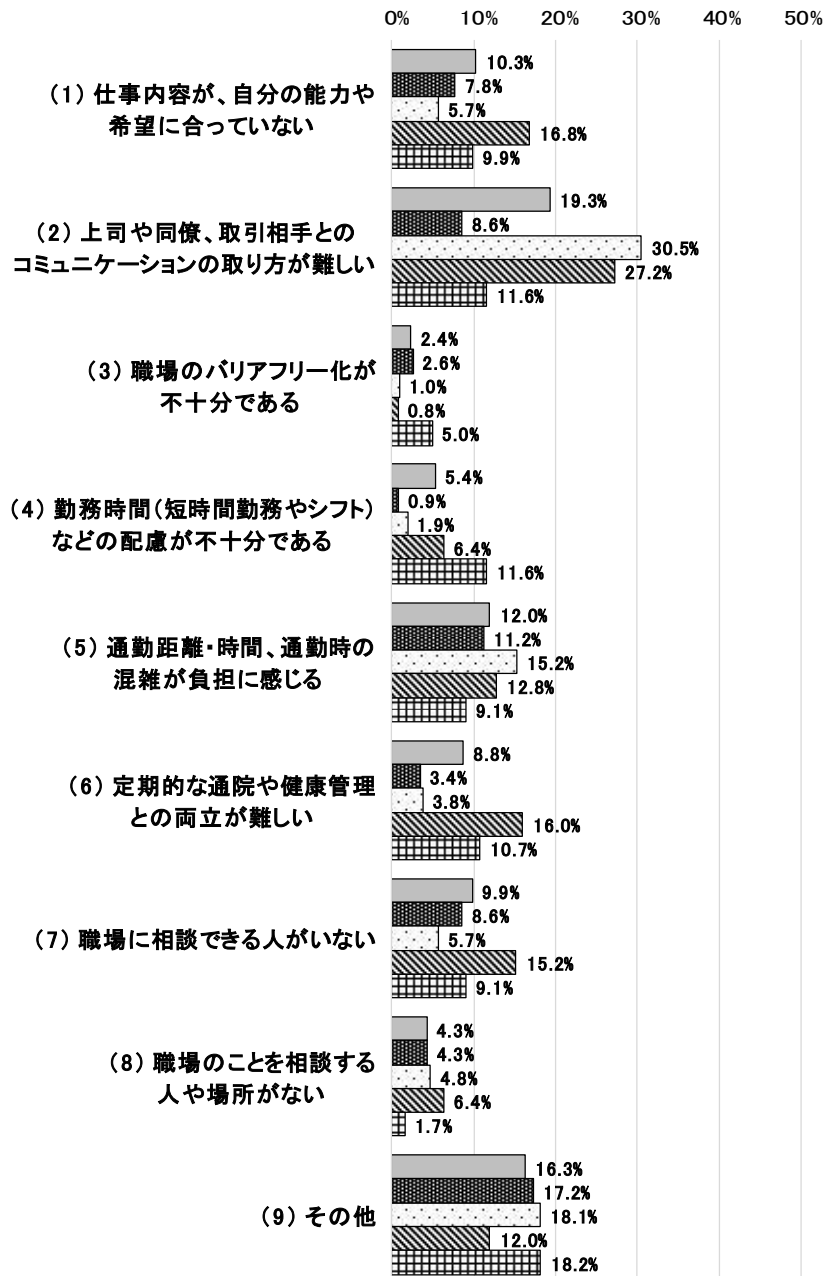


2 お仕事や学校生活について

(1) 仕事の困りごと

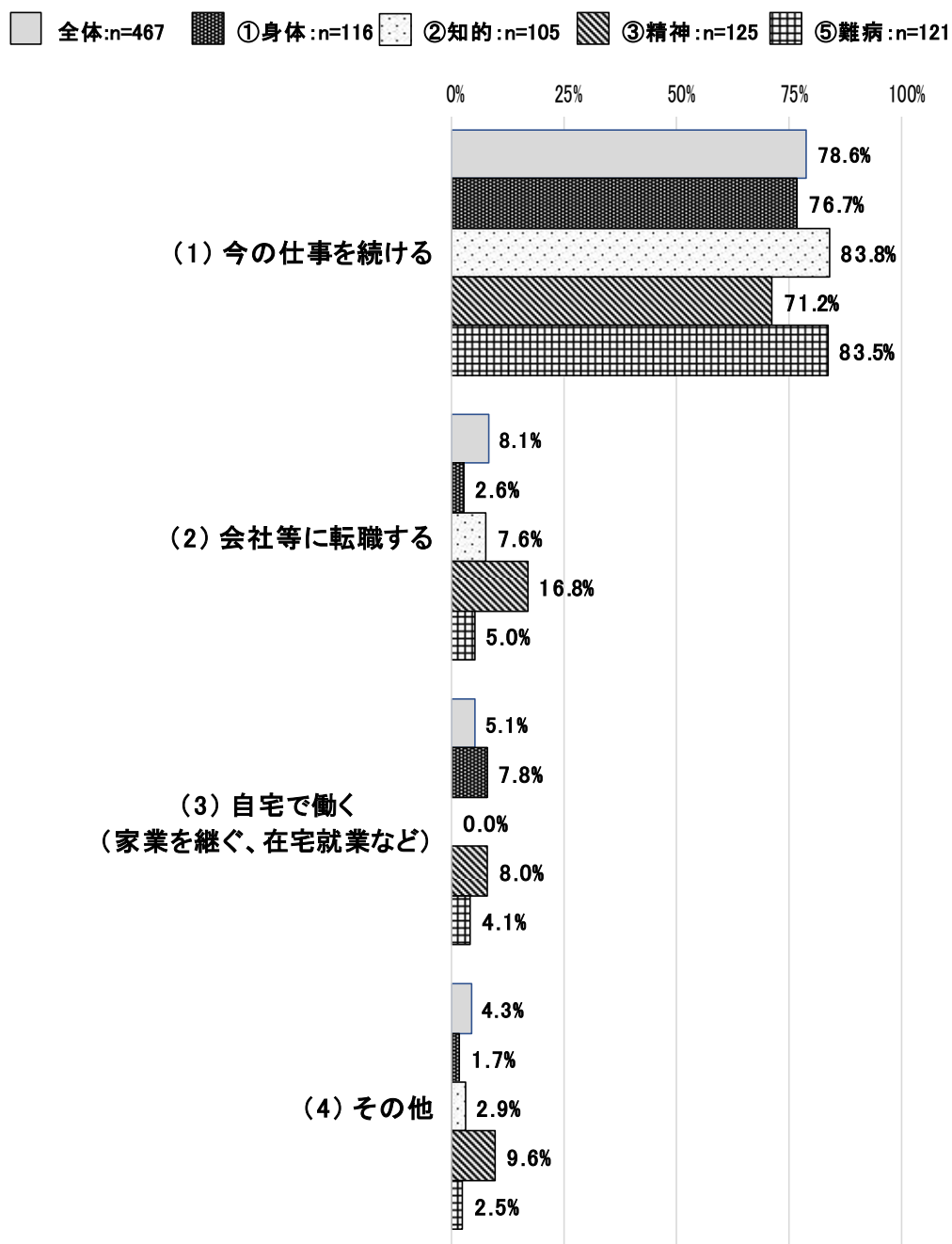
設問	仕事をする上で困っていることはありますか。
----	-----------------------

全体:n=467
 ①身体:n=116
 ②知的:n=105
 ③精神:n=125
 ④
 ⑤難病:n=121



(2) 今後の希望について

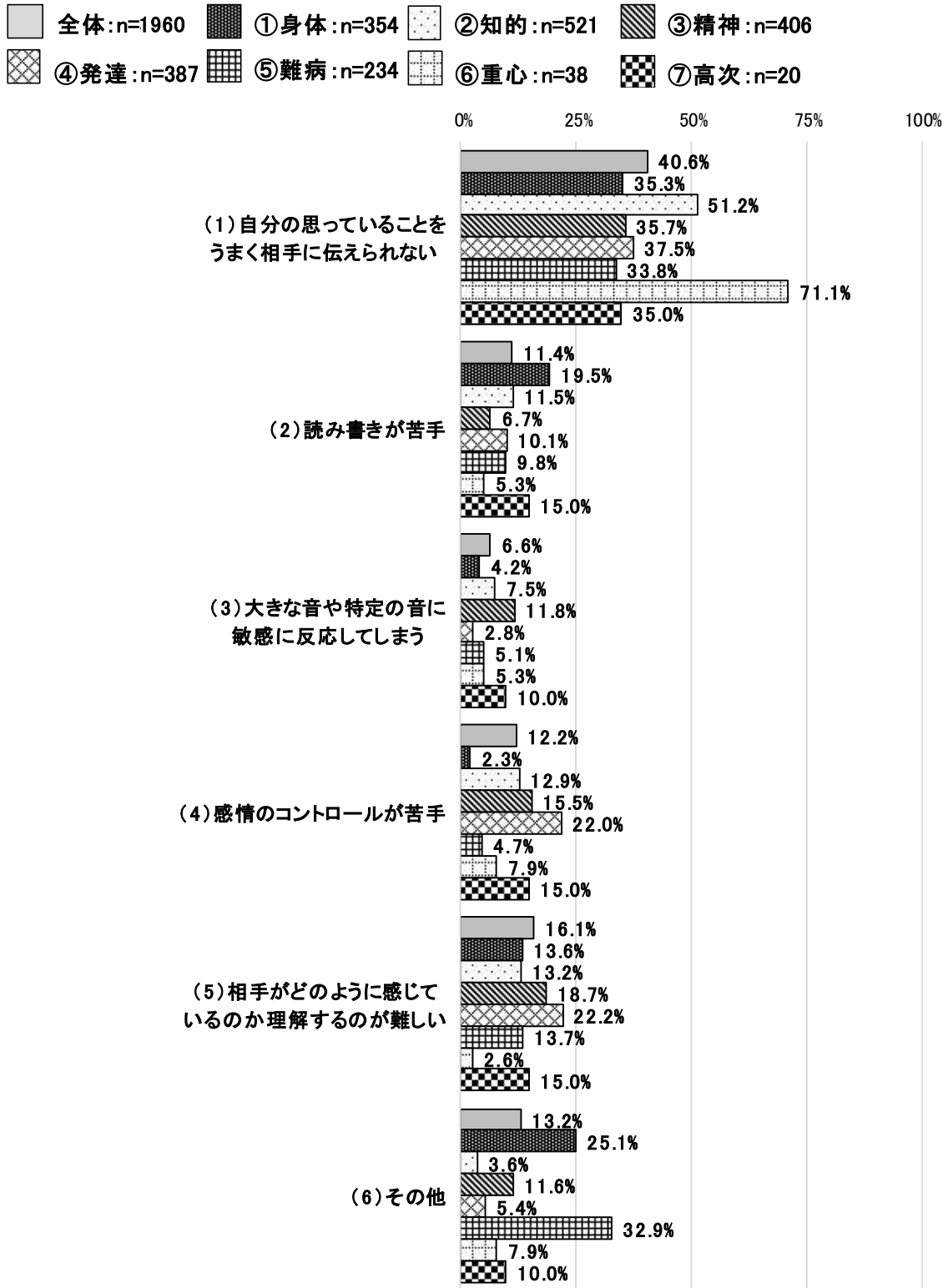
設問 今後どのような目標がありますか。 ※一般就労者



3 社会参加やコミュニケーションについて

(1) コミュニケーションの心配事

設問 日常的なコミュニケーションの際に心配なことは何ですか。

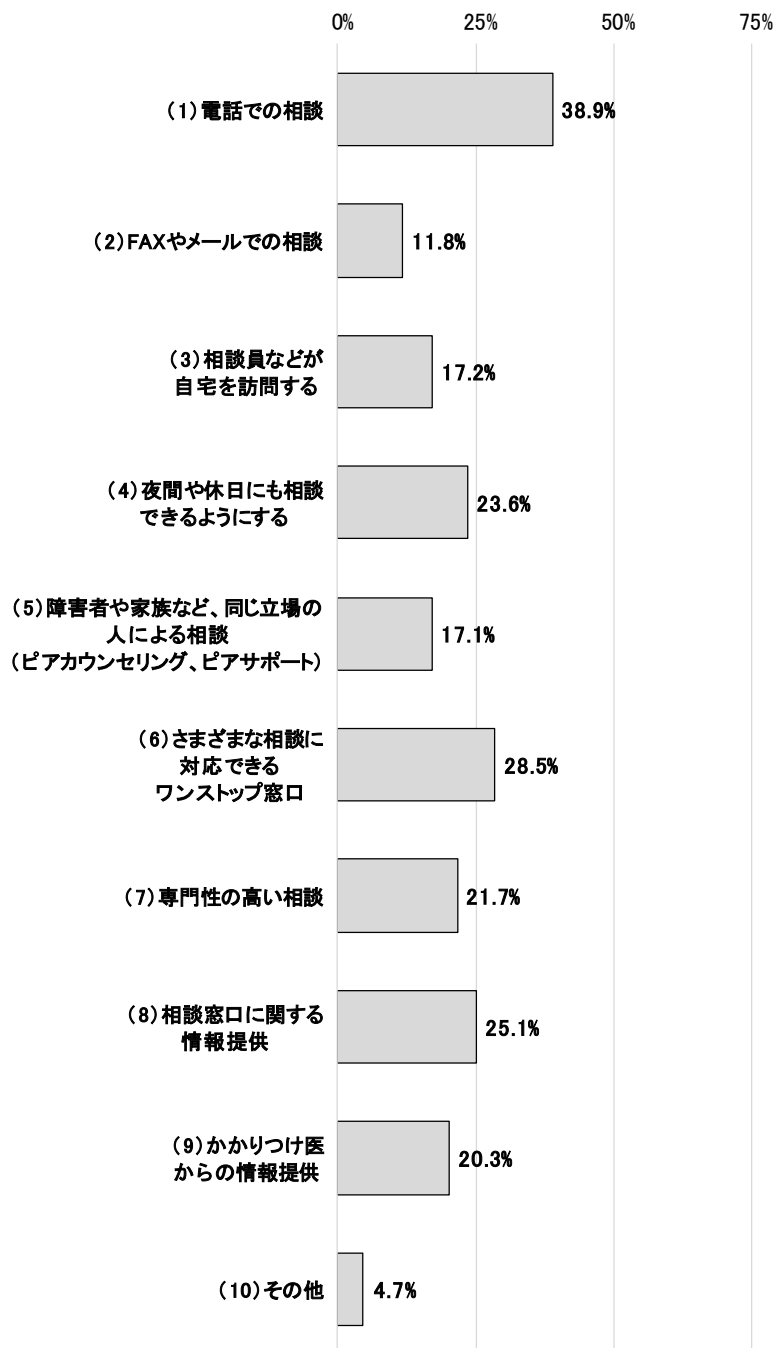


4 福祉に関する情報、相談先について

(1) 福祉サービス利用で区役所などへ相談しやすくするには

設問	福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。
----	---

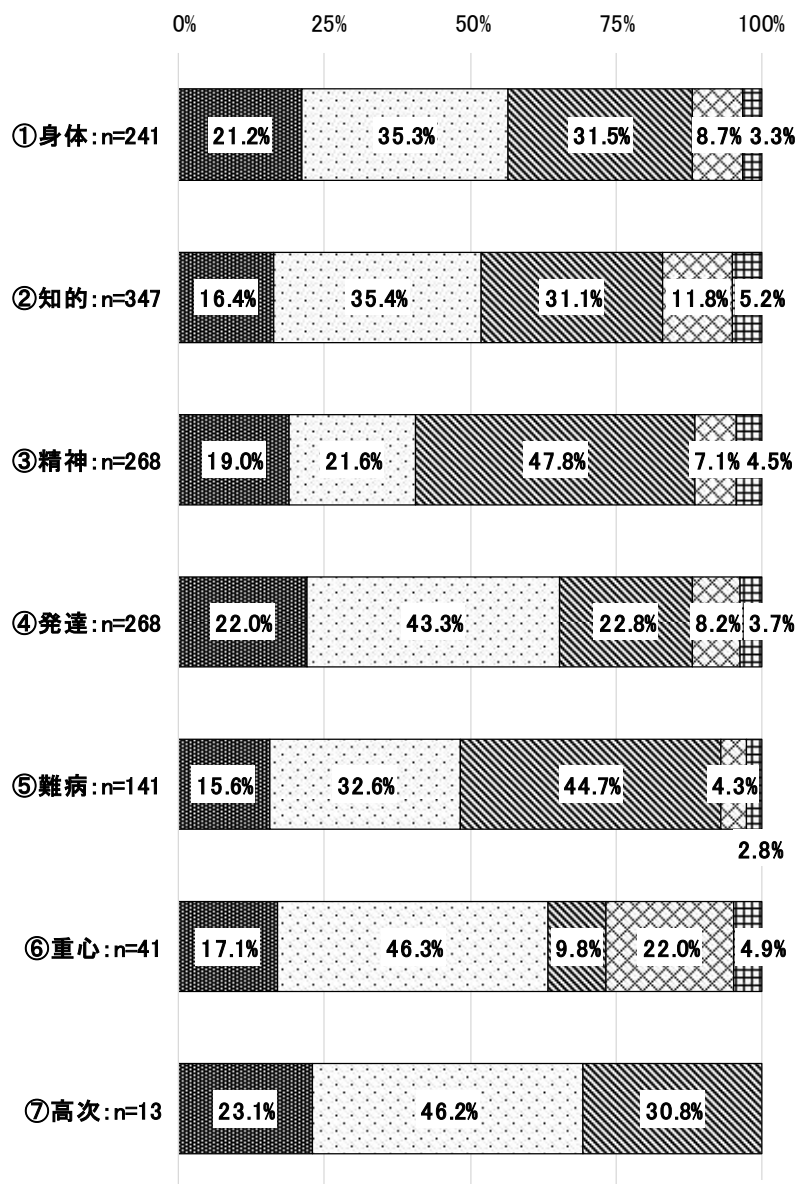
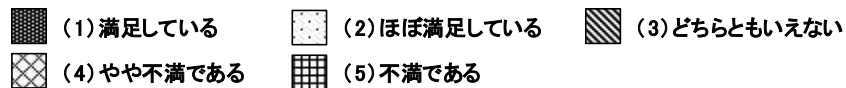
■ 全体:n=1990



5 福祉サービスの利用について

(1) サービスの満足度

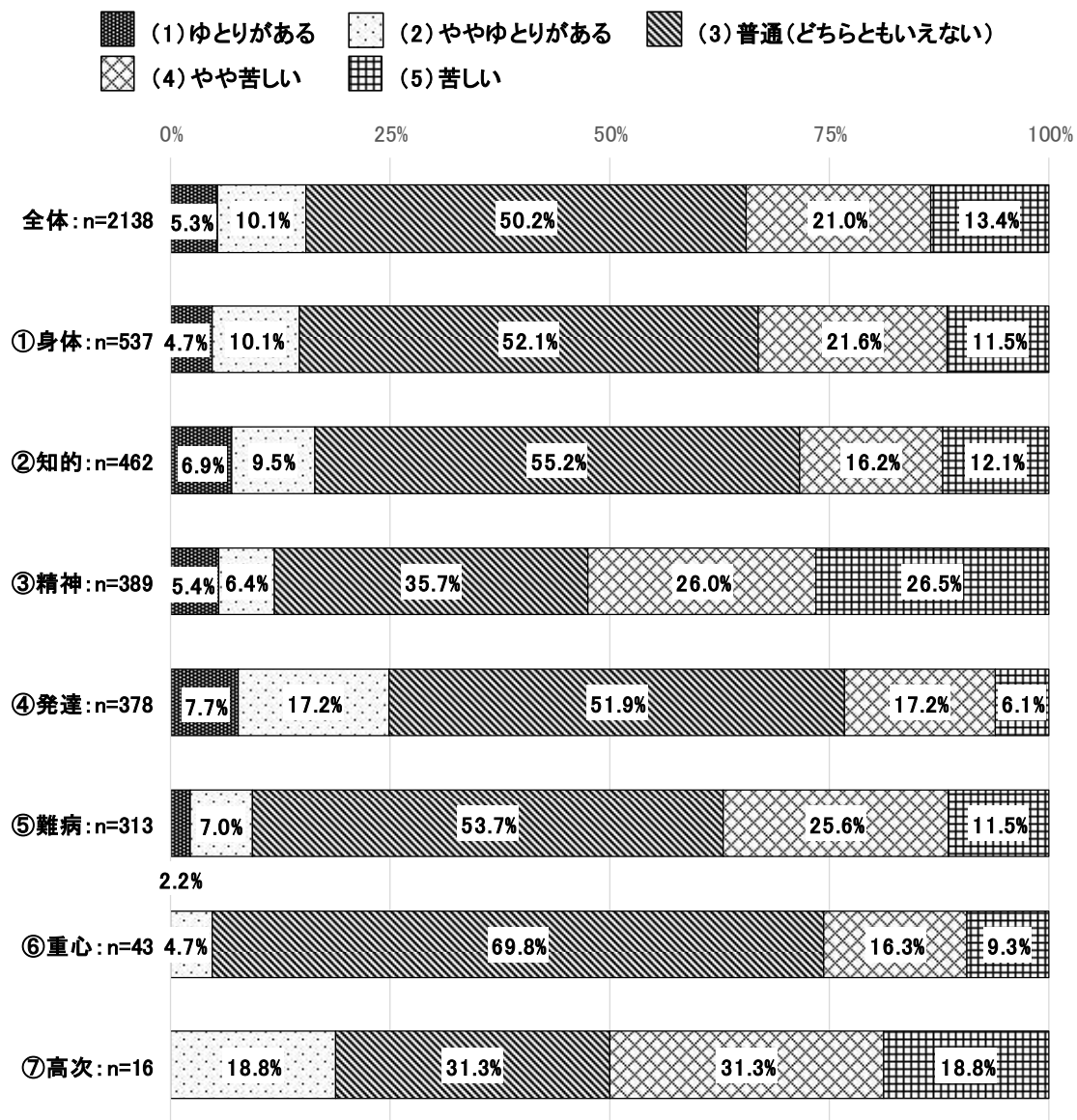
設問	利用しているサービスの量や質に満足していますか。
----	--------------------------



6 暮らしについて








(1) 暮らし向きについて

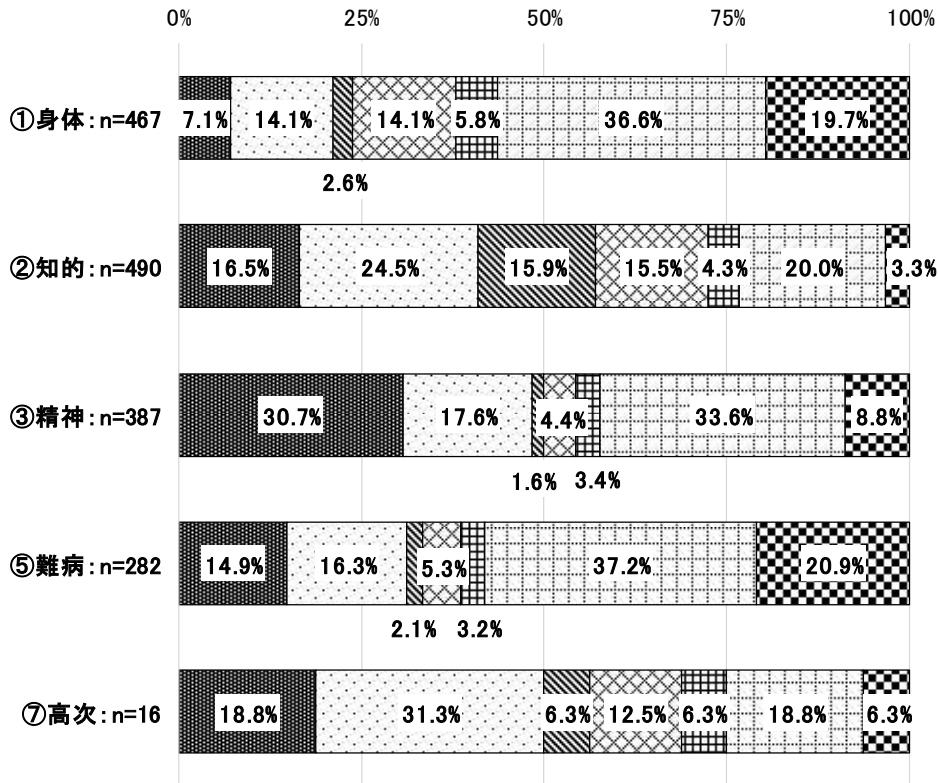
設問 現在の暮らし向き（家計の状況）について、どう感じていますか。








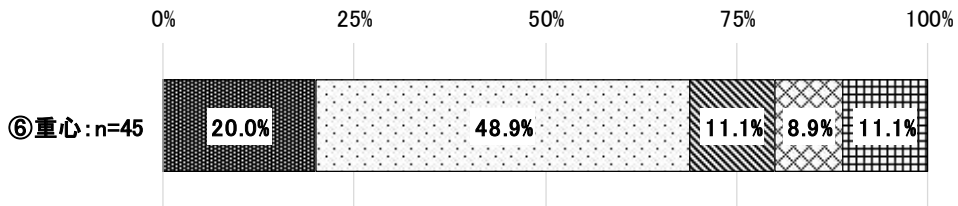
(2) 将来の暮らし希望

設問 将来どのような暮らしを希望していますか。

-  (1) 親元から独立した生活(ひとり暮らし、結婚など)
-  (2) 親や親族のもとでの生活
-  (3) グループホームでの生活
-  (4) 区内に施設があれば、入所施設での生活
-  (5) 区外でも良いので、入所施設での生活
-  (6) わからない
-  (7) その他



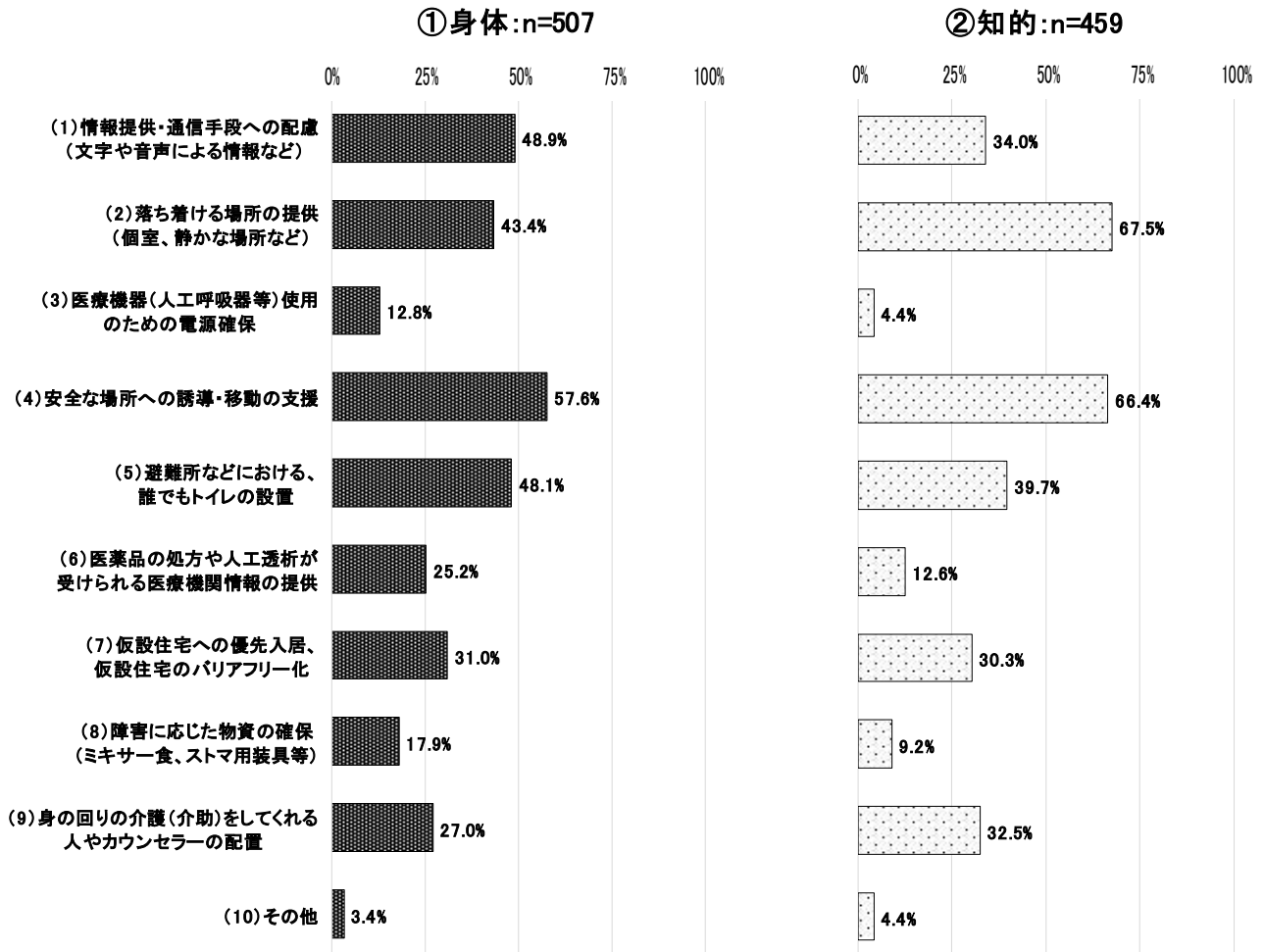
-  (1) 住み慣れた地域の中で暮らす(介護が可能な親族の家など)
-  (2) 区内に施設があれば、入所施設での生活
-  (3) 区外でも良いので、入所施設での生活
-  (4) わからない
-  (5) その他



7 災害時の支援について

(1) 災害時に必要な支援

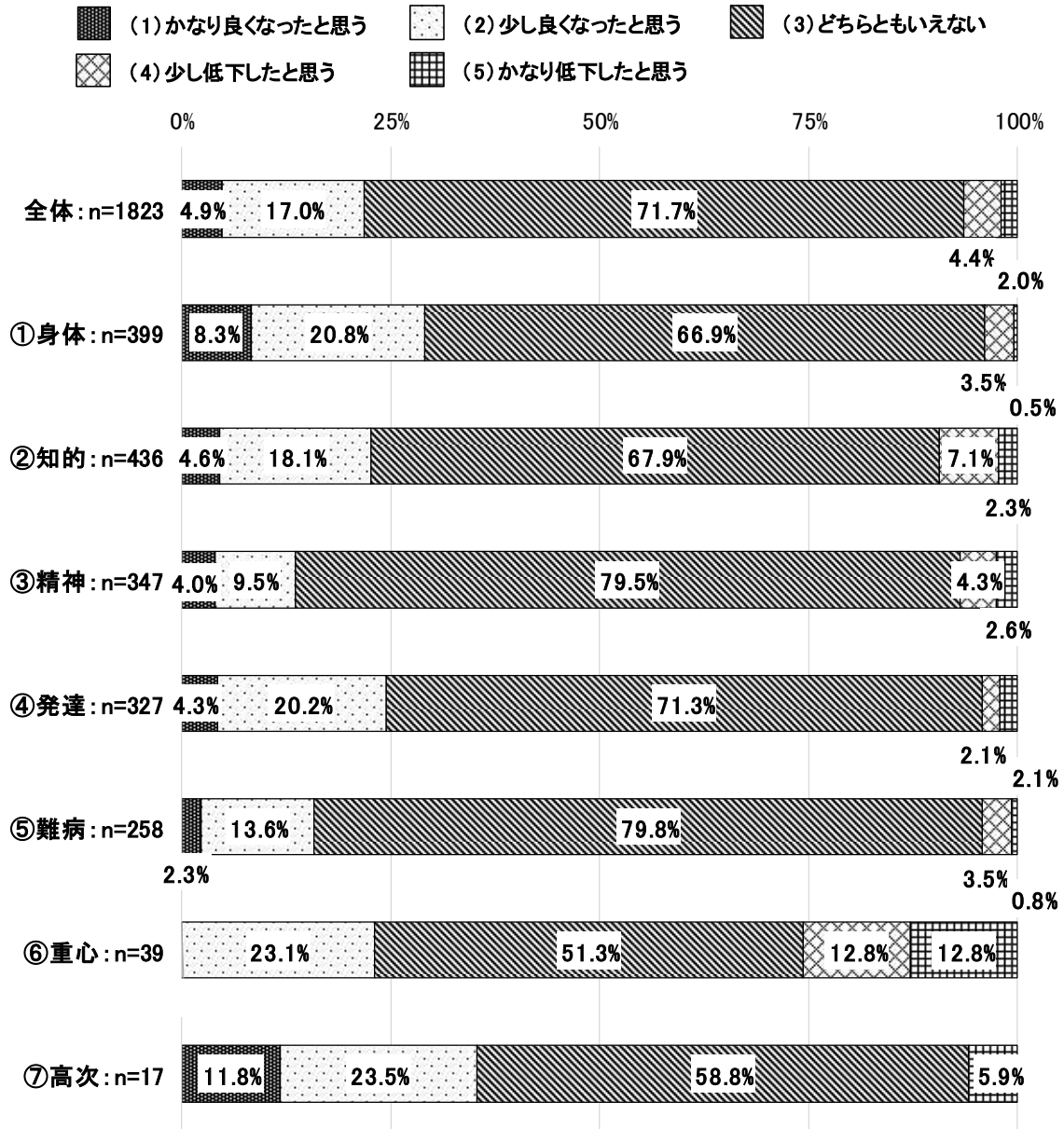
設問	災害時には、どのような支援が必要ですか。
----	----------------------



8 障害者施策について

(1) 江東区のサービスの变化

設問	江東区の福祉サービスは、3年ほど前（平成28年頃）より良くなってきていると思いますか。
----	---

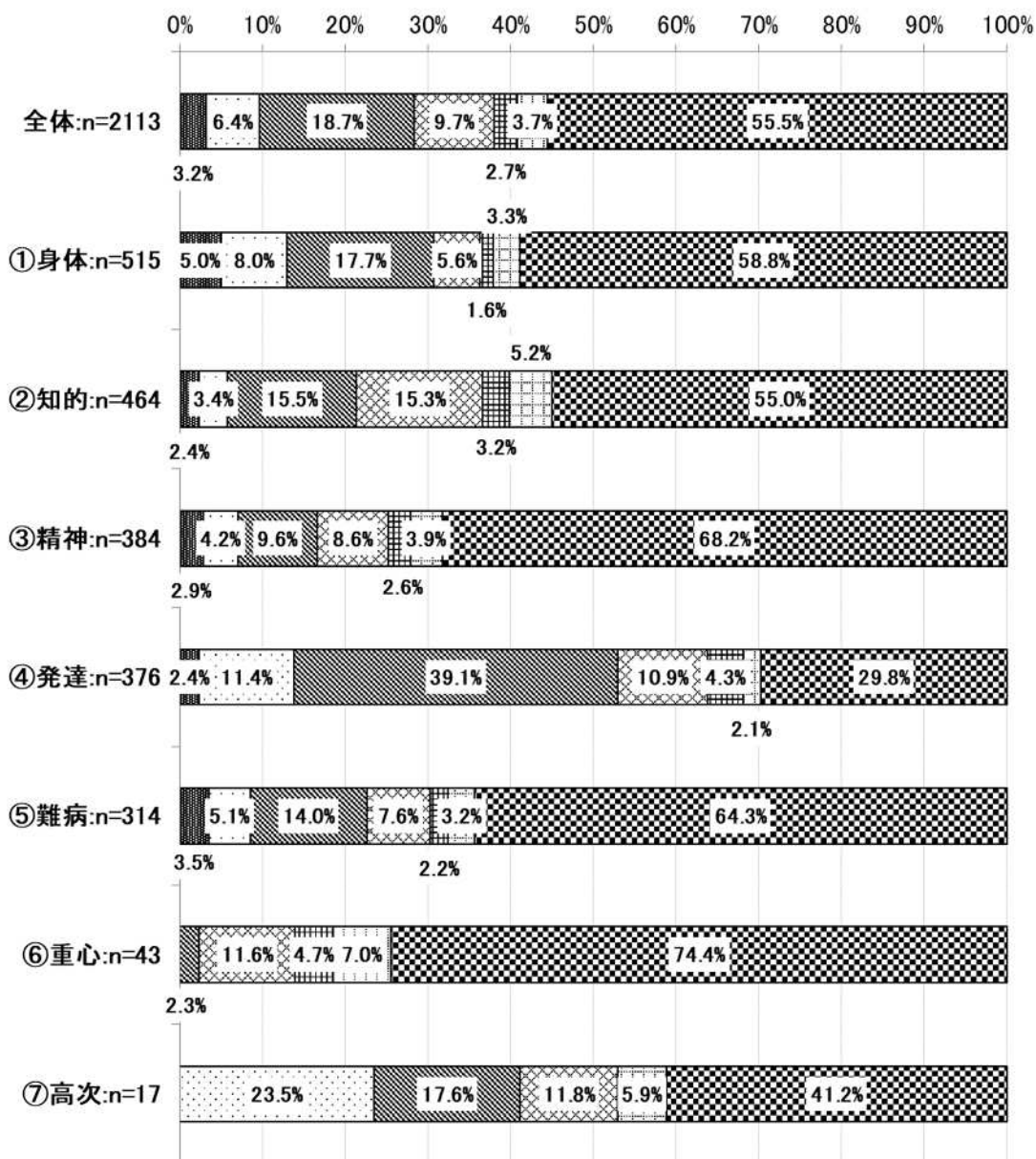


9 障害者スポーツについて

(1) スポーツ・レクリエーションを行う頻度

設問	スポーツ・レクリエーションを1年間に何日くらい行いますか。(学校の授業・行事、部活動を除く)
----	--

- (1) ほぼ毎日 (2) 週に3~5日 (3) 週に1~2日 (4) 月に1~3日
 (5) 3ヶ月に1~2日 (6) 年に1~3日 (7) スポーツ・運動を行っていない

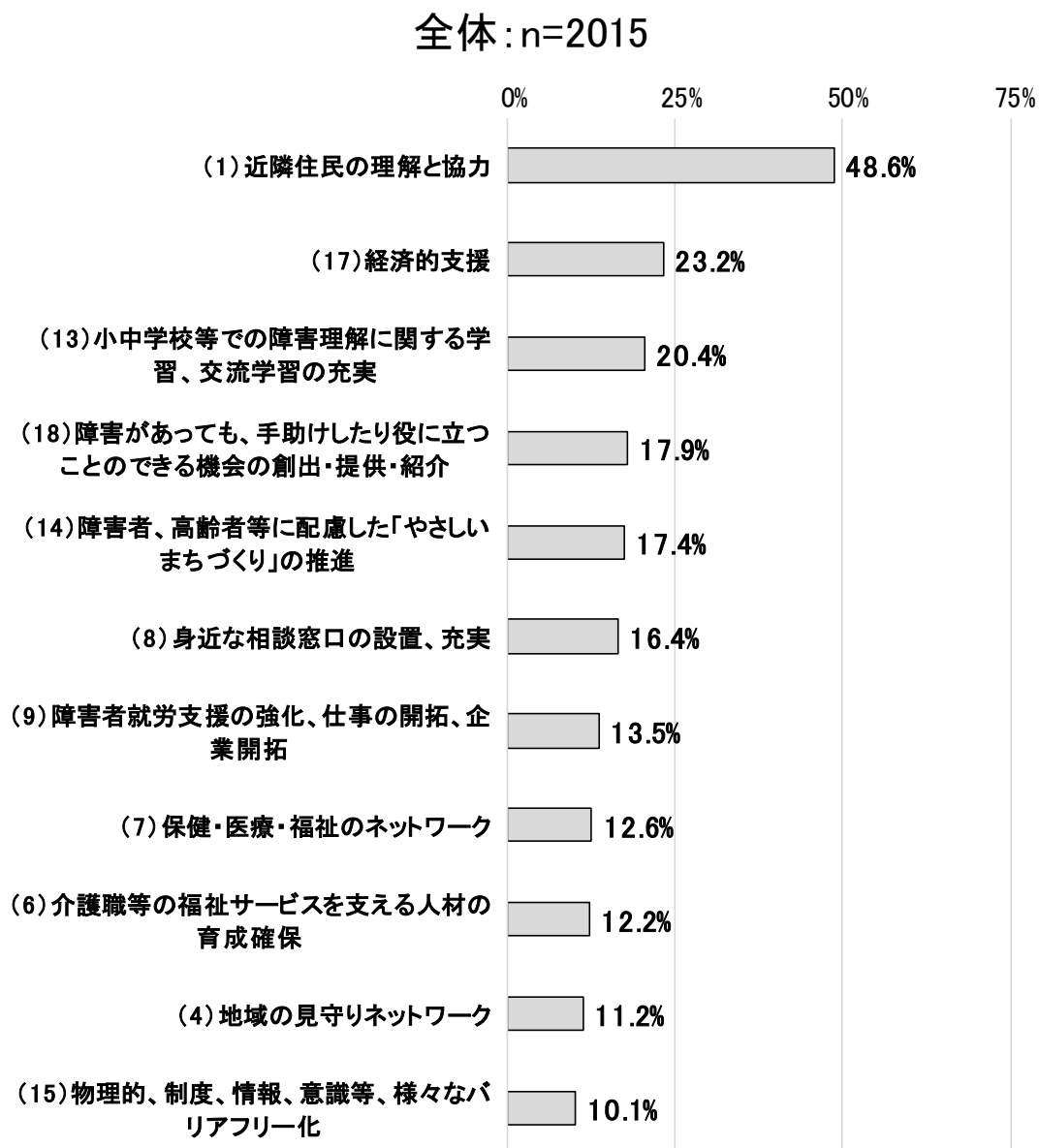


10 共生社会の実現について

(1) 共に生活できる地域社会の実現

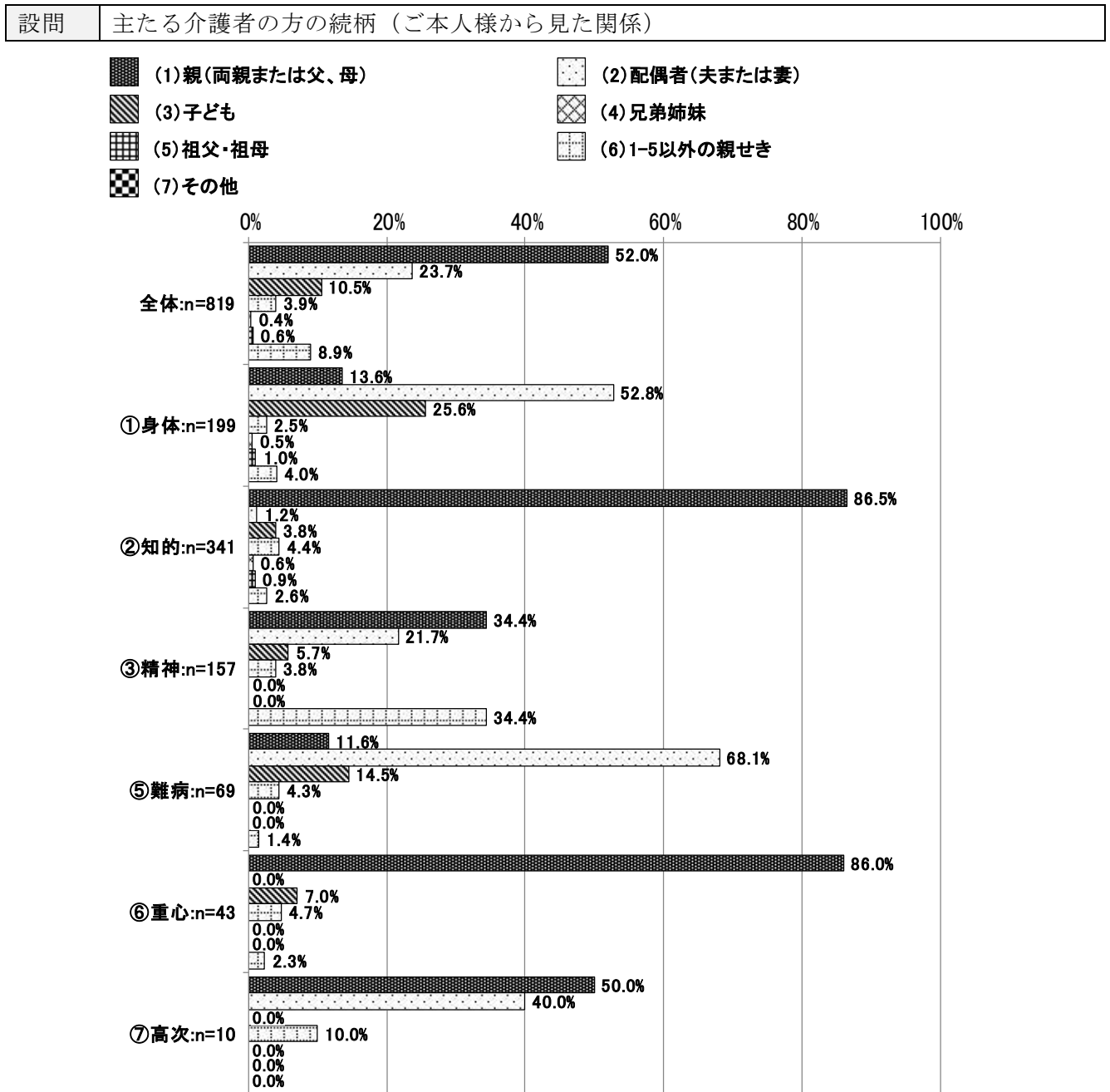
設問 「共生社会の実現」のためにはどのようなことが大切だと考えますか。

※大切だと回答した項目が10%以上のものを掲載



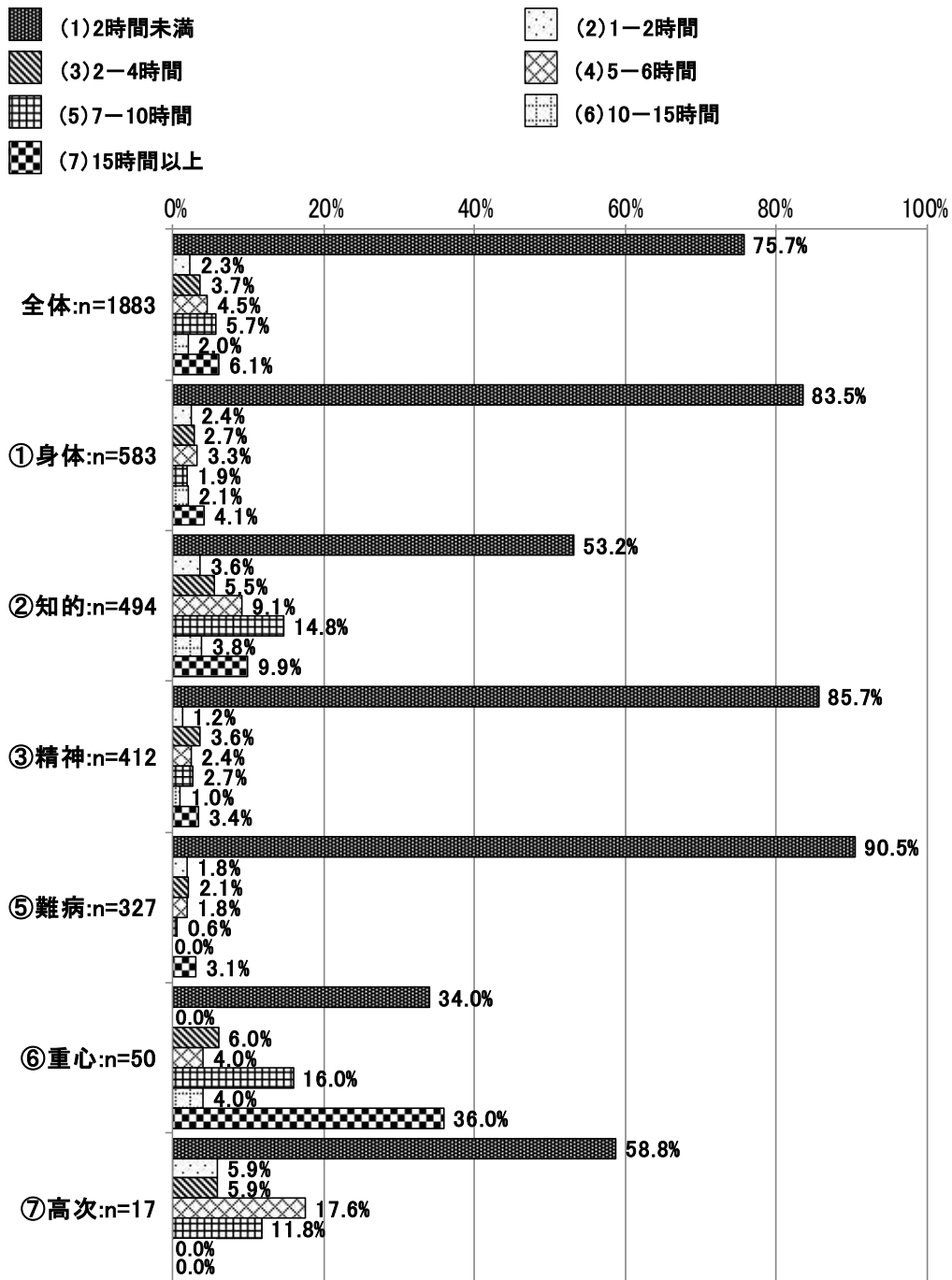
11 介護(介助・支援)者について

(1) 主たる介護者の続柄



(2) 介護時間

設問 主たる介護者の方の1日の平均的な介護(介助)の時間数

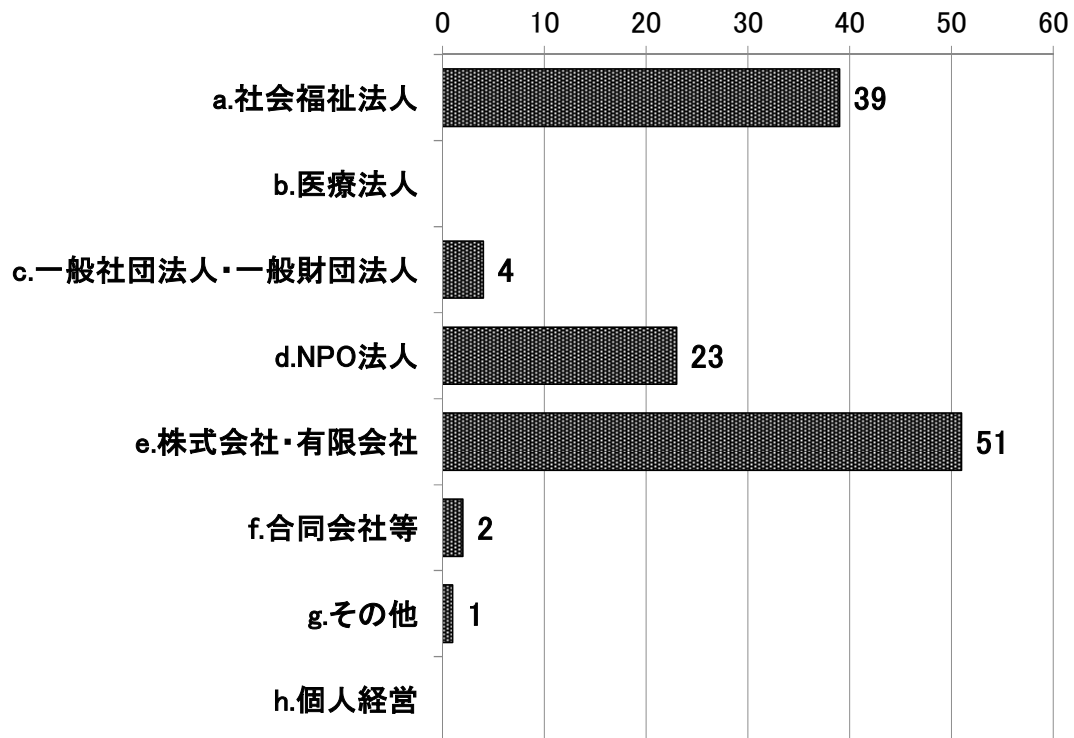


Ⅲ サービス提供事業所

1 事業所について

(1) 事業所の経営主体

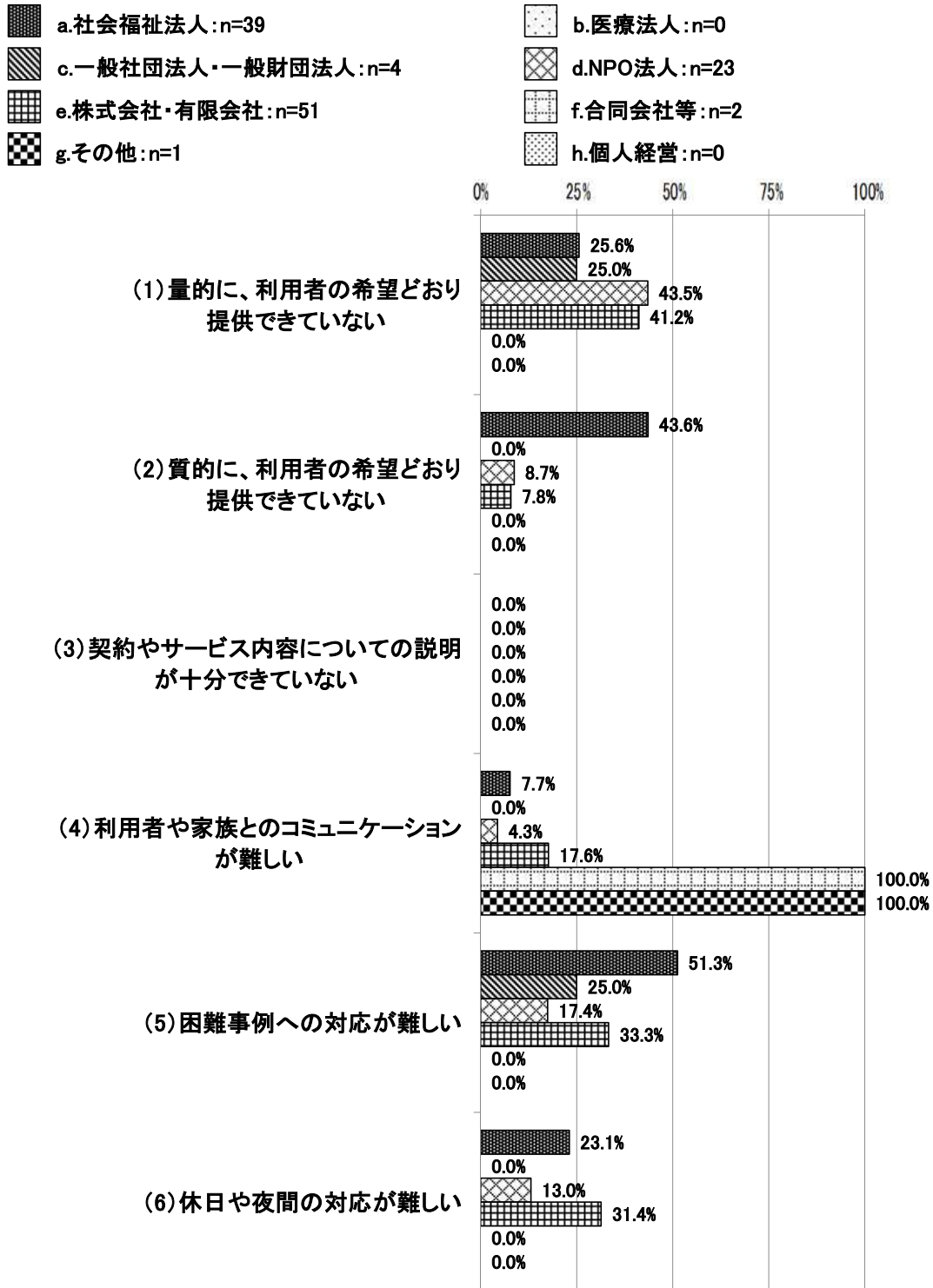
設問	貴事業所の経営主体について、教えてください。
----	------------------------











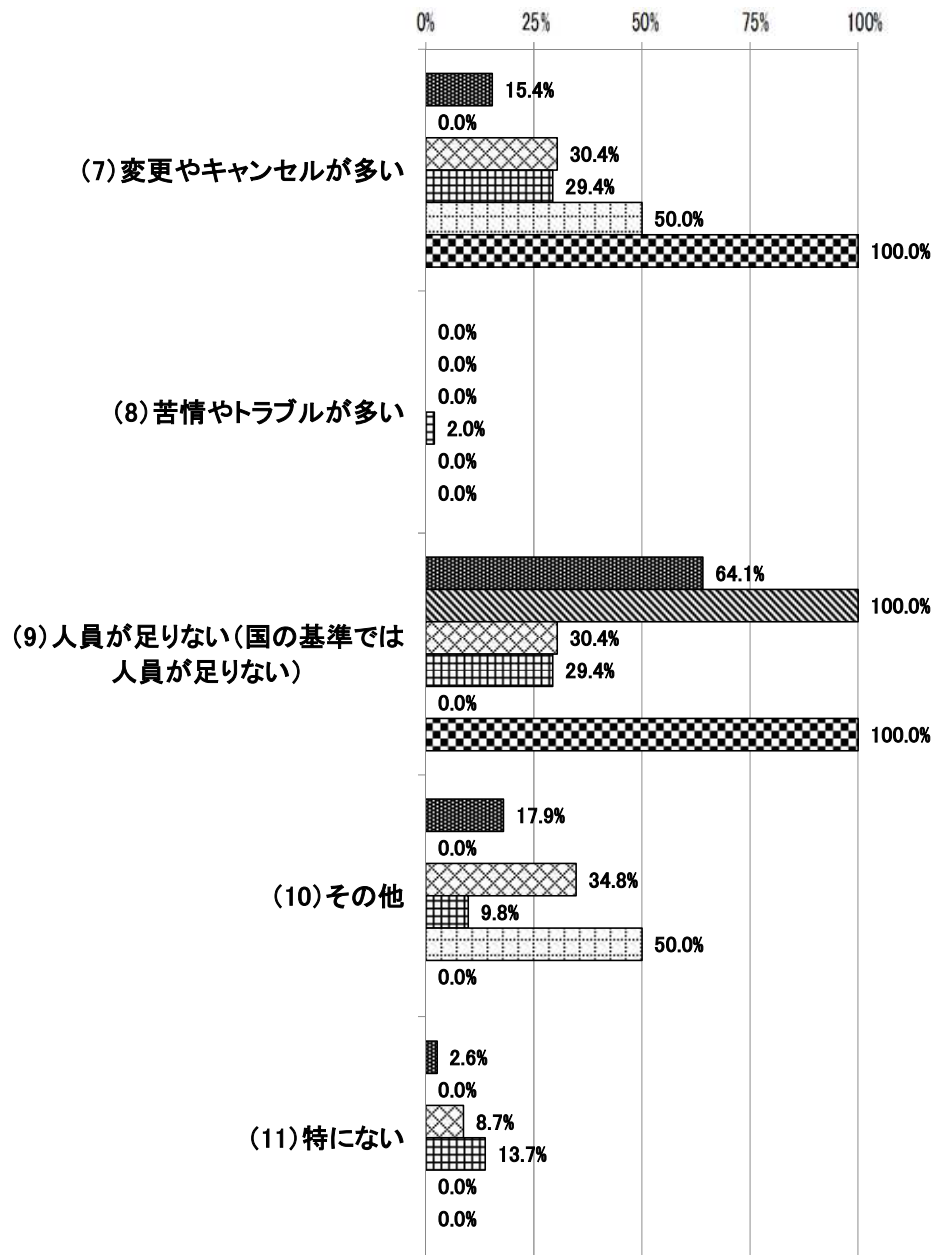
2 サービスの提供について

(1) サービスを提供する上での課題

設問 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることを教えてください。



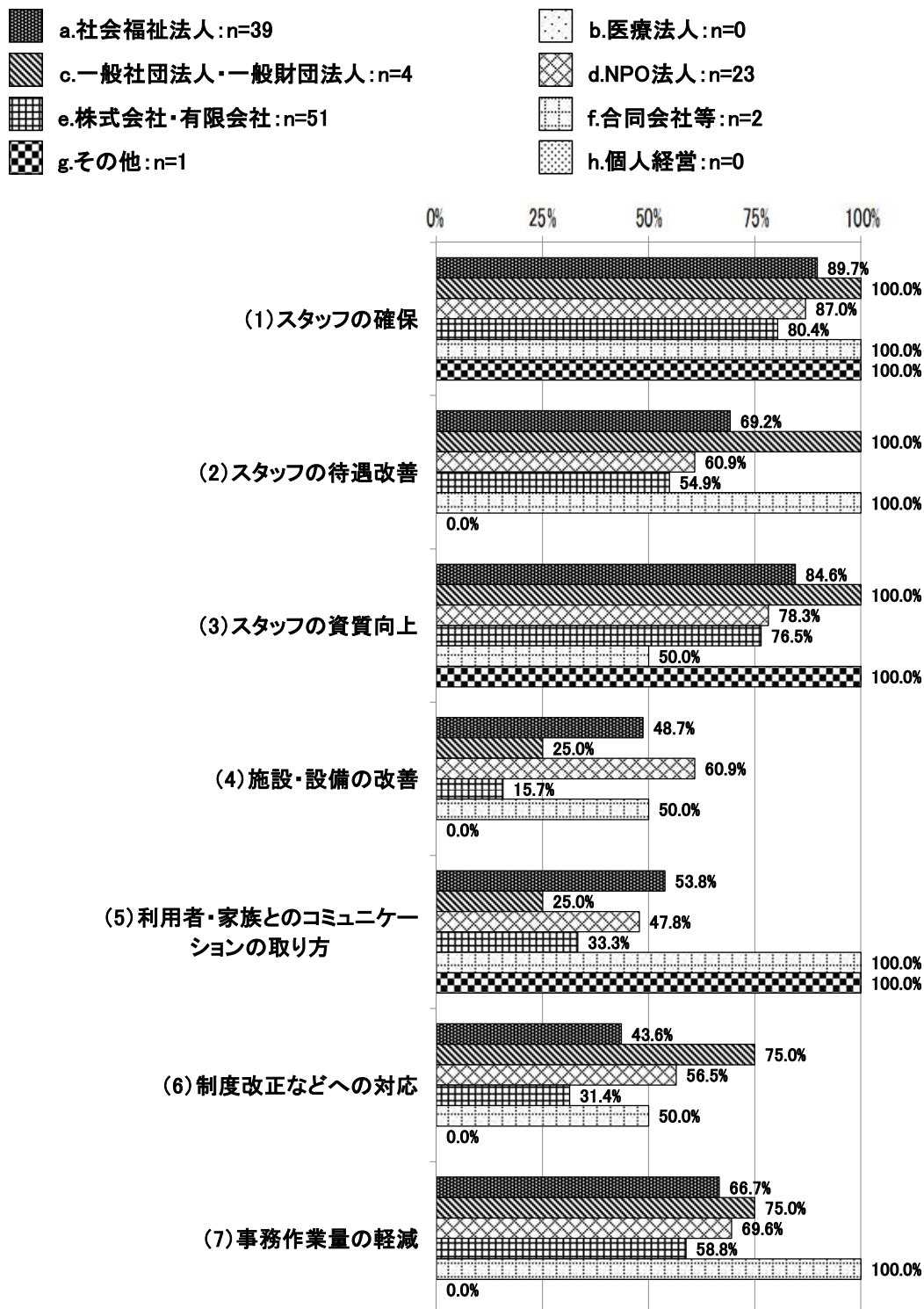
-  a.社会福祉法人:n=39
-  b.医療法人:n=0
-  c.一般社団法人・一般財団法人:n=4
-  d.NPO法人:n=23
-  e.株式会社・有限会社:n=51
-  f.合同会社等:n=2
-  g.その他:n=1
-  h.個人経営:n=0

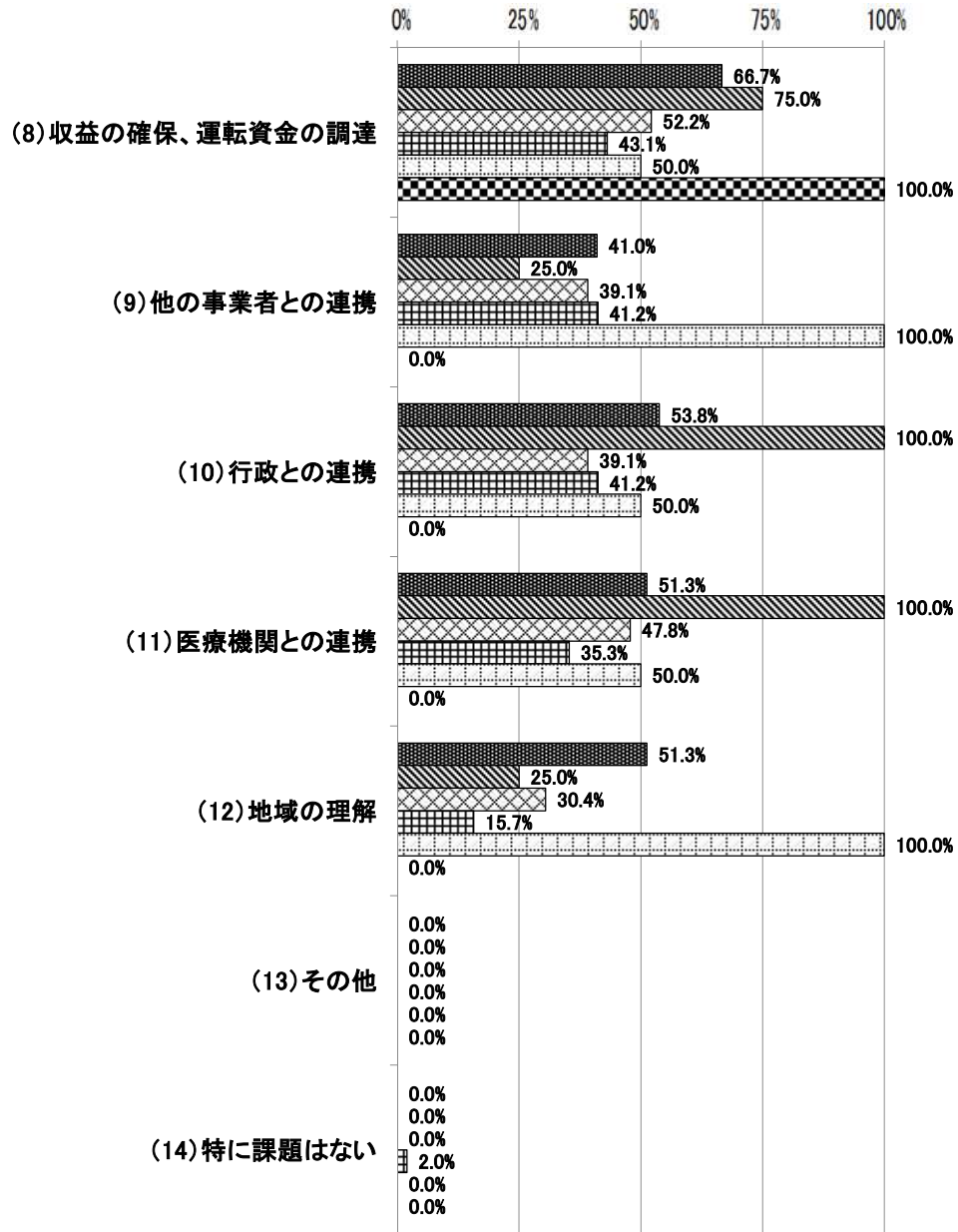
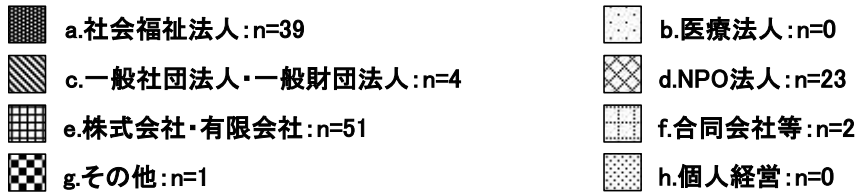


3 事業所運営について

(1) 事業所を運営していく上での課題

設問 貴事業所を運営していく上での課題を教えてください。





IV 障害者団体

1 各団体に共通した主な意見

(1) 住まい

区内グループホームが不足している。重度障害のある方が入れるグループホームも必要。民間だけでの設置は困難なため、公有地の活用、建物等の貸与や独自補助等を実施し整備を推進してほしい。

(2) 福祉サービス

サービス・制度の分かりやすい情報提供及び手続きの簡素化が求められている。
障害者本人の高齢化により、介護保険サービス利用への移行が円滑に行えるよう関係者の情報共有・連携が必要。

(3) 就労

就労移行支援については利用者の適性を見極めて企業に紹介しているが、定着へ繋げる継続的な支援が重要。

(4) 保健・医療

医療的ケアのある方への福祉サービスの充実。
医療と福祉サービスとの情報共有・連携が必要。

(5) 保育・教育

保育園では障害のあるこどもの受け入れが広がっているが、先生の理解が十分ではない部分もあるので、保育現場との連携し理解を深めていく必要がある。

(6) 生活環境（バリアフリーなど）

おむつ交換や着替えのできる公共施設やトイレが不足しているほか、多目的トイレ等へのユニバーサルベッドの設置が必要。

(7) 理解と交流

まだまだ障害理解が十分ではない現実があるので、地域住民から始めて、もっと障害について知ってもらいたい。

(8) 相談支援・情報提供体制

相談支援事業所が不足している。
外国の利用者が多くなってきており、コミュニケーションが難しい。特に専門的な話はニュアンスが難しいため、通訳の人を入れてほしい。

(9) その他

台風の時に小学校に避難したが、落ちついて過ごすことが難しく帰らざるをえなかったり、廊下に案内されたりということもあった。障害のある方のために別部屋で専用の教室を確保してもらえるとありがたい。